

友田たもつ

県政レポート(Vol.28)

Vol.28 21-3月

編集・発行

友田たもつ事務所

(〒750-0014)

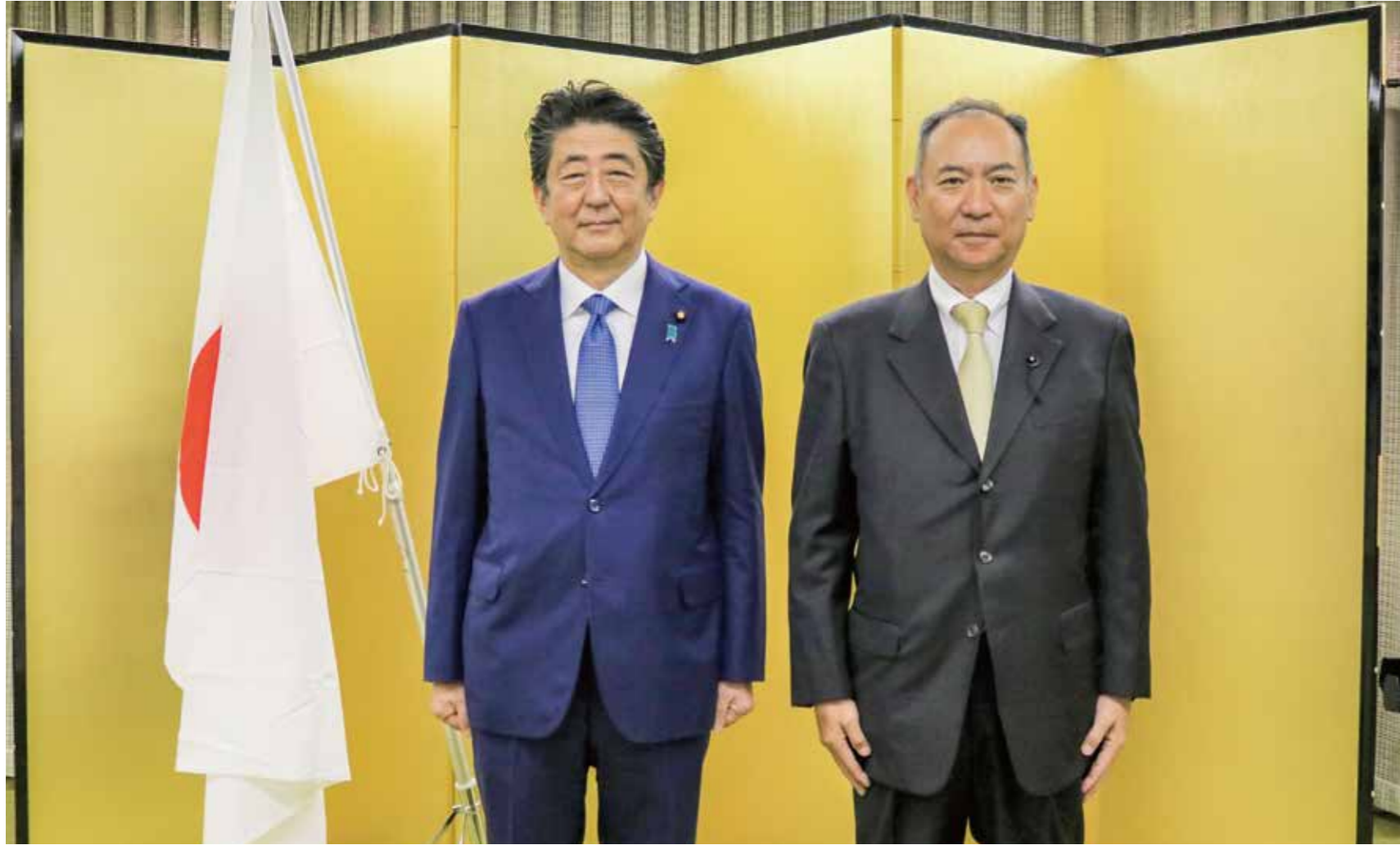
下関市岬之町8番16号コーエビル2F

TEL.083-231-8080

FAX.083-233-9250

●メールアドレス●

tomodatamotu@viola.ocn.ne.jp



下関北九州道路陳情の為、官邸訪問。
安倍総理(当時)とのツーショット(令和2年6月)

下関北九州道路の概要

下関北九州道路とは

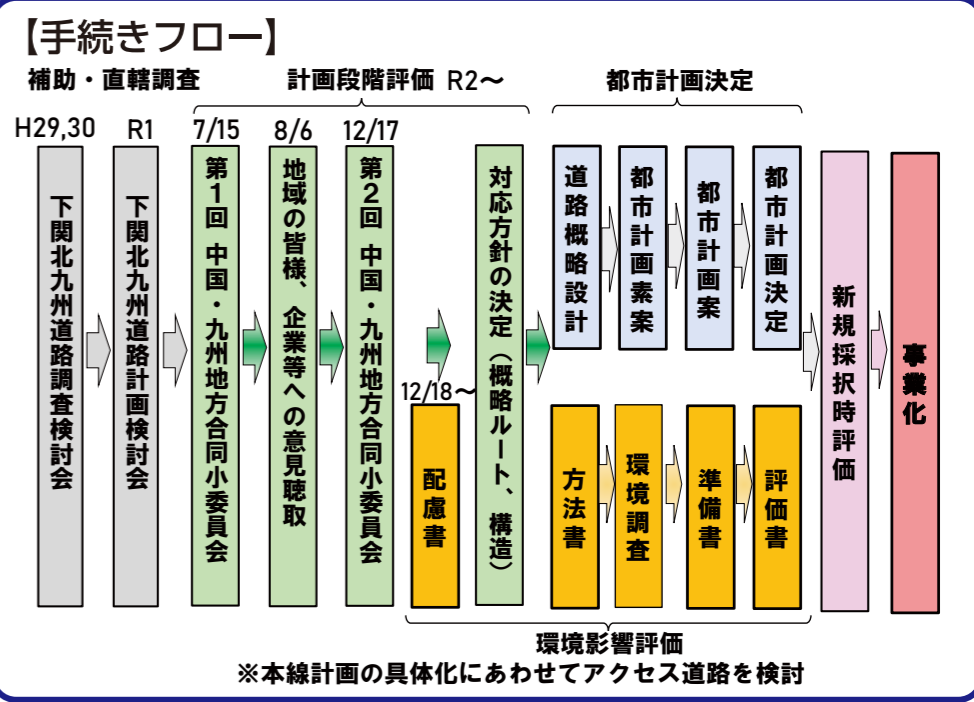
下関市と北九州市の中心部を結ぶ新たな道路であり、既存道路ネットワークの課題を解消するとともに、関門橋・関門トンネルの代替機能を確保し、さらには循環型ネットワークを形成することにより、下関・北九州地域の発展に大きく寄与するものです。



■第2回中国・九州地方合同小委員会による
審議の結果、【案②】別線案を対応方針案
(最適なルート帯等)とすることが妥当と判断

- 【これまでの経緯】
- S 6 2 構想浮上
 - H 6 国による調査開始
 - H 1 2 ルート案公表
(彦島迫町～小倉北区西港町)
 - H 2 0 調査中止※
 - H 2 9 調査再開
 - R 2 計画段階評価手続開始

※海峡横断プロジェクト
(下関北九州道路を含む全国6路線)の
調査が中止



令和2年度 第2回中国・九州地方合同小委員会配布資料をもとに作成

ごあいさつ

山口県議会議員
山口県支部連合会幹事長

友田たもつ

昨今の今頃、県政レポートを作成した時は、新型コロナウイルスは、流行を始めた時期で、早く終息して欲しいと願っていた事を思い出します。

しかしながら新型コロナウイルスは、とどまることもなく全世界に亘って脅威的な流行をして日本国内も危機的な状況から脱却できていない現状です。

さて、山口県の行政も、新型コロナウイルス対策を一番の政策の柱としています。現在は、東京都を主体として一〇都府県に『緊急事態宣言』が発令されて、解除の延期が執行されている最中です。(このレポートが発行される頃は宣言が解かれてワクチンの接種も充実化しており終息に向かっていている事を望みます。)

このような状況下で、山口県は令和三年度の予算編成に取り組んでいるところであり、新型コロナウイルス対策を柱として、様々なアフターコロナ対策など多岐にわたる予算を編成しようとしています。今回の県政報告は、山口県が下関市の将来の市勢の発展を目的とした道路の整備計画の進捗状況をお知らせいたします。皆様方もご承知のように主要なる基幹道路は当然皆様方の交通の利便性を図るとともに、産業の発展拡大にも大きく寄与致します。

道路が使用し易く、安全かつ効率的に整備されていけば、例えば、工場の材料の搬入や完成品の効率的な搬出が可能となります。このように道路は、『産業』を人間の身体で例えるならば動脈血管であるといっても過言ではありません。

『下関北九州道路』や、『山陰道』の早期着工は、下関市の未来の発展を現実的にする事ができ、市として新たな役割を創造することができると思います。

ここで皆様にお知らせ致しますので、この道路整備に対する忌憚のないご意見など頂けたらと存じます。末筆に、このコロナ禍の中、皆様方がご健勝であります事を祈り致します。

くれぐれもご自愛ください。